

指定管理者事業報告書

2006年6月30日

藤沢市長 殿

所在地 藤沢市朝日町10番地の8

指定管理者名称 財団法人藤沢市青少年協会

代表者の氏名 理事長 横山 弘美 印

次のとおり報告します。

管理業務の実施期間	2005年4月1日から2006年3月31日まで
管理業務を行つた公の施設の名称	藤沢市青少年会館
管理業務の実施状況及び利用状況	別添1のとおり
使用料又は利用に係る料金の収入実績	別添2のとおり
管理に係る経費の収支状況	別添3のとおり
(事務処理欄)	

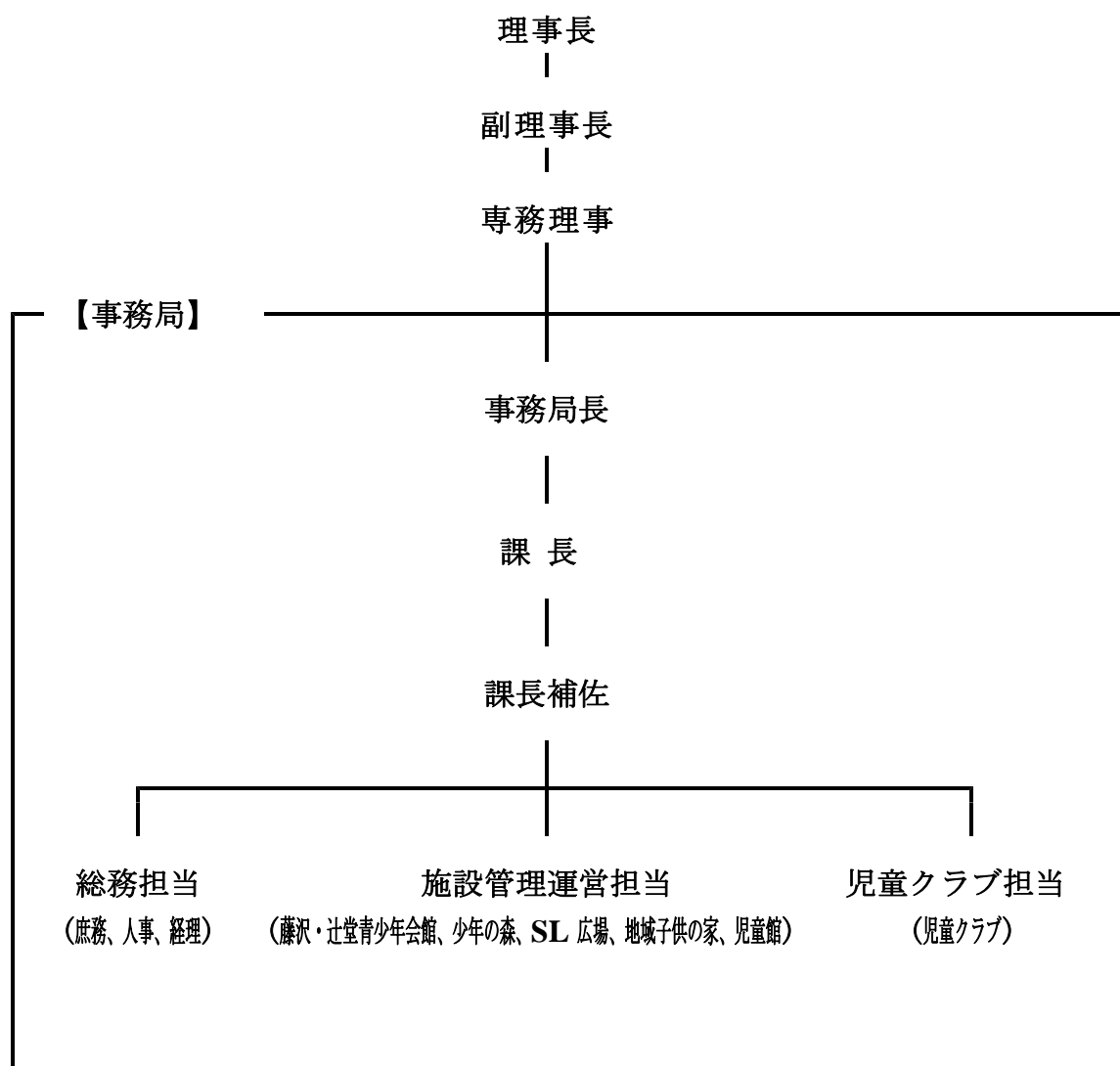
(別添 1)

藤沢市青少年会館管理業務の実施状況及び
利用状況報告書 (平成 17 年度)

指定管理者 財団法人藤沢市青少年協会

組織図

1 財団法人藤沢市青少年協会全体組織図



2 青少年会館職員内訳

(1) 藤沢青少年会館

常勤職員	0名
常勤嘱託	0名
非常勤職員	2名
臨時職員	3名
合計	5名

(2) 辻堂青少年会館

常勤職員	0名
常勤嘱託	0名
非常勤職員	3名
臨時職員	0名
合計	3名

(3) 青少年育成事業

常勤職員	2名
常勤嘱託	1名
非常勤職員	0名
臨時職員	0名
合計	3名

藤沢市青少年会館使用申請取扱要領

1 目的

この要領は藤沢市青少年会館条例（以下「条例」という。）及び藤沢市青少年会館条例施行規則（以下「規則」という）に基づき青少年会館の使用に関する事務の取り扱いについて定めるものとする。

2 使用できるもの

青少年会館を使用できるものは、藤沢市及び藤沢市教育委員会のほか条例第4条に定めるとおりとし、次による団体等をいうものとする。

- (1) 青少年とは、学齢期から30歳までの者
- (2) 条例第4条第1項第1号に掲げる団体（以下「青少年団体」という。）とは5名以上で、その構成員の過半数が市内在住、在勤又は在学の青少年で占められているものをいう。
- (3) 条例第4条第1項第2号に掲げる青少年育成に携わる者及びそれらの者により構成される団体（以下「青少年育成者等」という。）とは別紙1の団体及びその構成員をいう。

3 使用の区分

青少年会館の使用区分については次のとおりとする。

- (1) 青少年団体使用
青少年団体使用とは青少年団体及び青少年育成者等が条例の趣旨に沿った使用を行うことをいう。
- (2) 青少年個人使用
青少年個人使用については、別紙2（青少年個人使用のできる範囲）のとおりとする。
なお、個人使用については事前予約はできないものとし、当日空いている場合のみ使用できるものとする。この場合、使用申請の手続きは行わないが、使用時に所定の「個人使用受付票」へ必要事項を記入し提出するものとする。
- (3) 一般使用
一般使用とは、社会教育関係団体等が生涯学習や世代間の交流等、地域コミュニティづくりや地域文化の振興を図るために利用することをいう。

4 使用団体の登録

- (1) 使用団体は、年度毎に使用登録を行い承認を受けるものとする。
- (2) 使用できる団体の範囲は5名以上でかつその構成員の過半数が市内在住、在勤又は在学者で占められていること。
- (3) 使用団体の登録は所定の「青少年会館使用団体登録票」により行う。なお、登録に際しては、「団体規約」、「事業計画書」、「会員名簿」、「会計決算書」等の提出を求める事ができる。
- (4) 別紙1に該当する団体については使用団体の登録手続きを省略することができる。

(5) 小中学生の団体については、成人の指導者・育成者のいることが必要で、当該小中学生のみでの団体登録はできないものとする。

5 使用申請手続き

- (1) 青少年団体使用については規則第4条第1項のとおりとする。
- (2) 一般使用については、青少年団体使用の空いている時間において申請ができるものとし、使用日の属する月の1月前の月の初日から使用日の前日まで（藤沢市の休日を守る条例（平成元年藤沢市条例第24号）に定める市の休日を除く。）の間に申請をしなければならない。

6 使用に係る条件の範囲

- (1) 使用できない活動等は条例第5条第2項定めるものの他つぎのとおりとする。
 - ア 慶弔行事等に関する事
 - イ 営利活動に関する事
 - ウ 宗教活動に関する事
 - エ 政治活動に関する事
 - オ その他、教育委員会が適当でないと認めた活動
- (2) 使用の取り消し等
条例・規則に定めるものの他、使用申請又は使用団体登録に虚偽の申請があった場合使用の取り消し又は中止をすることができる。

7 使用の回数及び時間

公平な使用を図るため、同一団体が使用できる回数及び時間は、原則としてつぎのとおりとする。ただし、青少年個人使用及び別紙1の1～17の団体が青少年の健全育成に係る事業等を行う場合はこの限りではない。

- (1) 使用回数
同一団体が使用できる回数は週1回とする。
- (2) 使用時間
団体使用ができる時間は9時から21時30までとする。ただし、日曜日については9時から16時30分までとする。
- (3) 1回の使用時間
1回の使用時間は1時間単位で最高3時間までとする。

8 施設の優先確保

施設の優先確保についてはつぎのとおりとする。

- (1) 別紙1の1～17の団体が青少年の健全育成に係る事業等を行う場合はについては1年前とする。
- (2) その他教育委員会が年間使用を必要と認める団体の活動については年度当初とする。（条件については別紙3のとおり）

9 申請方法及び受付時間

使用申請は月の初日（ただしその日が休館日または藤沢市の休日を定める条例（平成元年藤沢市条例第24号）に定める市の休日であった場合は市の休日以外の最初の開館日）に抽選で行うものとし、その後空いている施設は随時受け付けるものとする。

（1）抽選方法及び受付時間は、つぎのとおりとする。

時 間		方 法
番号配布	9:00～9:30	青少年団体、一般団体の先着順にそれぞれ別々の整理番号を渡す。
抽選	9:30～	青少年団体、一般団体の順にそれぞれ整理番号順に抽選を行い、青少年団体から先に、その抽選番号順に申請を行う。なお、抽選開始後に来た団体については、当該申請が終了後に受け付けるものとする。
随時受付	9:30 ～17:00 ただし月の初日は抽選 会終了後～17:00	先着順

（2）財団法人藤沢市青少年協会による使用

財団法人藤沢市青少年協会による使用については、申請書によらず使用日の属する月の1日付けで起案し（使用目的、使用施設、使用時間を明記し事務局課長決裁）使用することができる。

10 使用料収納事務

藤沢市青少年会館使用料収納事務委託契約書のとおり

11 使用料減免の基準

規則第6条のとおり、ただし、規則第6条第1項第3号による減額、及び第6条第2項第4号、第5号による免除を行う場合は事前に教育委員会と協議し決定すること。

12 使用料の還付

条例第9条における「教育委員会が使用者の責めに帰することができない理由」とは災害等により、青少年会館が物理的に使用できなくなった場合、及び規則第2条第2項、第3条第2項の規定により臨時に休館または供用時間を短縮した場合をいう。

1.3 公用による使用

藤沢市及び藤沢市教育委員会が使用する場合（以下「公用」という。）は、申請書によらず使用日の1年前から課長名（または学校長名）で申し込むことができる。（許可不要）

1.4 休館日の使用

規則第2条第1項第1号の休館日に、公用又は別紙1の団体が使用する場合は規則第2条第2項の教育委員会による事前承認なく使用することができる。

1.5 その他

(1) 使用人数の報告

使用者は、使用終了時に所定の報告書により当日の使用人員を報告するものとする。

(2) 原状回復

使用者は退室の際には使用した部屋を清掃し、使用開始前と同様の形状に戻すものとする。

(3) 飲 食

体育室及び学習室を除き可能とする。ただし、飲酒はいかなる場合も認めない。

(4) 喫 煙

全館禁煙とする。

(5) 動物の持ち込み

動物（ペット等）の持ち込みはできないものとする。ただし、盲導犬等障害者の介助に必要な動物についてはこの限りではない。

附則 この要領は平成17年4月1日から施行する。

(別紙1) 青少年育成者等

- 1 財団法人藤沢市青少年協会
- 2 藤沢市ボーイスカウト連絡会及び藤沢市ボーイスカウト連絡会に所属する団体
- 3 藤沢市ガールスカウト連絡会及び藤沢市ガールスカウト連絡会に所属する団体
- 4 藤沢市子ども会連絡協議会及び藤沢市子ども会連絡協議会に所属する単位子ども会
- 5 藤沢市青少年指導員協議会
- 6 藤沢市青少年育成協議会及び地区協力会
- 7 藤沢子ども劇場協議会
- 8 藤沢市青年実行委員会
- 9 藤沢S L少年団
- 10 藤沢青少年会館運営委員会
- 11 藤沢市宇宙少年団
- 12 藤沢市科学少年団
- 13 少年の森ボランティアクラブ
- 14 藤沢海洋少年団
- 15 藤沢市青少年活動リーダーバンク
- 16 象の会
- 17 藤沢市保護司会
- 18 藤沢市P T A連絡協議会及び藤沢市P T A連絡協議会に所属する単位P T A (単位P T A会長名による申請)
- 19 藤沢市スポーツ少年団本部及び藤沢市スポーツ少年団に所属する単位団 (単位団団長名による申請)

(別紙2) 青少年個人使用のできる範囲

(1) 優先的に青少年個人使用のできる施設

藤沢青少年会館 第3談話(学習室)

辻堂青少年会館 集会室・談話室・和室

ただし辻堂青少年会館については18時以降は団体使用に限る

(2) 団体使用のない場合に個人使用のできる施設

上記以外の施設

(3) 団体使用のない場合に個人使用のできる施設については1回あたり原則2時間以内とし他に使用するものがないときは延長して使用することが可能である。なお使用に際しては条件を付すことができる。また18時以降の使用については当日の17時までに申し込みを行うこと。

(4) 中学生以下の生徒及び児童の個人使用は18時までとする。ただし、保護者等成人の引率者が伴う場合は、この限りではない。

(別紙3) 教育委員会が年間使用を必要と認める団体の活動の条件

- (1) 青少年団体として登録を行っている団体のうちが構成員（会員）の8割以上が市内在住、在勤又は在学の青少年で占められていること。
- (2) 年間事業計画に基づき定期的な活動をしていること。（月平均3回以上定まった曜日、時間で活動すること。）
- (3) 構成員（会員）が20名以上いること。
- (4) 藤沢青少年会館運営員会に所属すること。
- (5) 青少年会館及び財団法人藤沢市青少年協会事業に協力すること。
 - ア 初心者講習会を開催すること。
 - イ 秋祭り等事業への参加をすること。
 - ウ 財団法人藤沢市青少年協会の賛助会員（団体）となること。

平成17年度 藤沢市青少年会館管理運営事業実施報告

はじめに

平成17年度に藤沢市から当協会が指定管理者として当施設の運営を受託し、「藤沢市青少年対策の基本方針」の実現を目標とした年間事業計画に基づき1年間取り組んだ。具体的な成果としては、社会情勢を反映した先導的事業及び本市の特性を活かした事業展開を図るとともに、市民と一体となった青少年育成運動の促進、青少年団体活動の奨励等により、藤沢市における青少年の健全育成を担うことができた。

これらの実施結果は（別紙）のとおりであるが、各年度の経営方針に基づき実施した事業展開は下記のとおりである。

1 利用者及び参加者が気持ちよく、そして楽しく利用（参加）できる環境作りのための研修の実施

青少年会館における重要な役割である窓口業務において、来館者が気持ちよくそしてスムーズに利用できるように、職員間の情報交換の場となる全体の会議を定期的におこなうと共に、協会独自で接遇研修を実施し、個人の資質の向上を図った。

また、事業においては野外教育から青少年支援、指導者養成に至るまで多種多様な知識と技術が必要なことから、国立オリンピックセンターや神奈川県野外教育施設並びに神奈川県青少年センターで実施している研修会に職員を派遣し、これを全体の会議で報告することにより、個人でスキルアップ及び全体の能力の底上げを図った。

2 フリースペース開放に向けた検討及び既存利用団体との協議

辻堂青少年会館においては従来より実施している青少年のフリースペース開放事業を藤沢青少年会館においても青少年の居場所となるべく、フリースペースの開放に向けて関係団体との協議及び居場所づくりに向けての検討を年間を通して実施した。

3 施設使用料徴収に伴う事務手続きの変更

青少年会館においては、平成17年度からの有料化に伴い使用料の徴収方法を利用者の立場に立った視点から検討し、実施した。また、これに伴い青少年サークルと一般サークルの線引きを明確にし、より青少年が使いやすい青少年会館となるように予約方法などにおいて事務手続きを変更した。

4 各事業における満足度調査及び分析

事業の実施にあたっては、従来より実施していたアンケート調査をより細かく満足度を調査し、そして分析することにより、参加者の声を事業の企画・運営に取り入れた。その結果、大きな事業の枠は変更していないが事業運営の進め方等の改善を図った。

なお、青少年が自主的に、そして楽しく事業に参加できるように、ただ参加するだけでなく、体験型の事業を基本として展開した。

また、多くの事業においては青少年のボランティアを活用し、事業展開を図った。これは事業を円滑に遂行するためだけでなく、青少年の手によって事業を運営することにより、本人の成長を促すものであり、協働して事業を運営してきた。

5 事業参加者負担金の適正な料金設定の調査

事業における参加者負担金の設定については、受益者負担等の観点から事業内容や諸経費及び事業内容や市民ニーズ等を考慮した参加者負担金の設定を検討した。

6 藤沢市環境方針への取り組み

別表 1. 2 のとおり

(別紙) 年間事業報告書

① 青少年のための国際化推進事業

ア 国際交流のつどい

外国人と青年が相互に交流し、理解を深めるため共同活動や討議等を行った

ア) 第1回国際交流のつどい

成 果 流しそうめんを材料づくりから体験してもらい、日本の夏の文化にふれてもらうとともに、参加者同士の交流が図られた

時 期 2005年7月1日 午前11時～午後3時00分

場 所 少年の森

参加者 外国人22名、日本人52名

参加費 300円

イ) 第2回国際交流のつどい

成 果 藤沢市主催の国際交流フェスティバルにおいて交流ブースを担当し、世界の結婚式とお葬式の紹介を行うとともに、ハロウィンにちなんだゲームを通しての交流が図られた

時 期 2005年10月30日 午前10時～午後4時

場 所 サンパール広場

参加者 フェスティバルのため、未集計

参加費 なし

ウ) 第3回国際交流のつどい

成 果 色々な国のカレーを各グループで作り、食べ物を通じた交流が図られた

時 期 2006年3月26日 午前10時～午後3時

場 所 鶴沼市民センター

参加者 外国人14名、日本人31名

参加費 500円

イ 外国人のための日本語講座

成 果 日本語を学ぶ機会を提供(入門・初級・中級に分けて難)し、藤沢市内外国人青年が地域で相互理解、交流を深めるための支援が図られた

時 期 年2回(2005年5月～7月:全11回、11月～2006年2月:全12回)

場 所 藤沢青少年会館

参加者 平均49名/回

参加費 無 料

ウ 世界のあいさつ入門講座

成 果 各国の習慣や文化などをその国の人からダンス・歌など紹介してもらい、異文化の相互理解が図られた

時 期 2006年2月19日 (オーストラリア)

2006年2月26日 (シンガポール)

2006年3月 5日 (トルコ)

場 所 藤沢青少年会館

参加者 平均35名

参加費 無 料

エ 青年のための日本語教授法講座

成果 外国人のための日本語講座のボランティア講師の養成が図られた
時期 講義 2005年5月12日～7月15日 全11回
実践 2005年7月10日、7月17日 全2回
場所 藤沢青少年会館
参加者 11名
参加費 無料

オ 情報紙の発行

成果 国際化推進事業の紹介及び地域の情報などを日本語、英語、スペイン語で掲載し、情報提供することができた
作成数 各1,500部
発行日 年2回(10月27日、2006年3月25日)
配布先 公共施設窓口、大学及び外国人就労企業

カ オープンルーム

成果 日本語講座受講生や一般の外国人及び日本人が気軽に集まり交流できる場を提供した
時期 年間(随時)
場所 藤沢青少年会館

キ 国際協力

成果 身近にできる国際協力として、使用済テレホンカードや古切手の回収事業等を実施した
時期 2005年4月～2006年3月
内容 使用済テレホンカード等・古切手を回収

ク 青年海外派遣事業(共催事業)

成果 大韓民国保寧市の青年を藤沢市において受け入れ、過去の海外派遣団員による青年同士の交流やホームステイなどを通じて、国際理解を深めるとともに、国際的な視野をもった青年の育成が図られた。
時期 2005年8月18日～8月22日(5日間)
場所 藤沢市内公共施設及び少年の森等

② 青少年の社会参加活動推進のための交流、交歓活動の推進及び社会参加意欲の高揚

ア 小学生リーダー研修事業

成果 自主的な話し合いと準備に責任をもって取り組むことで、集団・体験生活に主体的に関わり、仲間との共感や達成感を体験できた

ア) 時期 2005年6月18日～2006年3月12日

場所 藤沢青少年会館、少年の森等

参加者 約40名

内容 ・2005年6月18日 藤沢青少年会館

「オリエンテーション」

・2005年8月20日～21日 少年の森

「宿泊研修、野外炊事・ハイキング・レクリエーション等」

・2005年10月15日 藤沢青少年会館

「藤沢青少年会館秋の祭典出店」

・2005年12月17日 藤沢青少年会館

「リーダー研修クリスマス会(小・中・高校生リーダー合同)」

・2006年3月11～12日 愛川ふれあいの村

「お別れキャンプ」

※すべての活動に3～4回程度の事前研修を実施した

イ) 小学生研修、育成指導者研修（藤沢市子ども会連絡協議会に委託）

イ コミュニティリーダー中学生

成 果 学校・学年といった枠を越えた仲間とともに、自らの手で事業の企画・立案することにより自主性・創造性を身につけ、グループの中で積極的に行動できるリーダーの育成が図られた

時 期 2005年6月19日～2006年3月29日

場 所 藤沢青少年会館、少年の森

参加者 中学生18名

内 容

- ・2005年7月17日 藤沢青少年会館
「オリエンテーション」
- ・2005年7月17日 少年の森
「デイキャンプ」
- ・2005年10月16日 青少年会館
「藤沢青少年会館秋の祭典出店」
- ・2005年12月17日 藤沢青少年会館
「リーダー研修クリスマス会(小・中・高校生リーダー合同)」
- ・2006年3月29日 少年の森
「デイキャンプ」

※各研修3～4回程度の事前研修を実施した

ウ コミュニティリーダー高校生

成 果 興味・関心ある活動に主体的に関わり、活動プログラムの企画・運営から実施まで主体的に行うことを通してリーダーの育成が図られた

時 期 2005年10月16日～2006年3月27日

場 所 藤沢青少年会館、少年の森等

参加者 高校生19名

内 容

- ・2005年6月22日 藤沢青少年会館
「オリエンテーション」
- ・2005年10月16日 藤沢青少年会館
「藤沢青少年会館秋の祭典出店」
- ・2005年12月17日 藤沢青少年会館
「リーダー研修クリスマス会(小・中・高校生リーダー合同)」
- ・2006年3月27日 海洋館
「青少年の心の問題についての自主勉強会」

※ 各研修3～4回の事前研修を実施した

エ 青少年活動指導者養成事業（リーダースクール）

成 果 青少年の自立を推進するきっかけづくりとして、また広い視野と指導力を備え、青少年の多様化を的確にとらえた活動ができるリーダーの養成が理論と実践を通して図られた

時 期 2005年5月19日～2006年2月24日

場 所 藤沢青少年会館、少年の森、神奈川県内キャンプ場等

受講生 15名(18歳以上の市内在住、在勤、在学者)

内 容 【本科コース】

- ・2005年5月19日 午後7時～午後9時 藤沢青少年会館
「オリエンテーション」・講義内容説明、グループワーク
- ・2005年5月28日～29日 1泊2日 足柄グリーンサービスPAA21
「プロジェクトアドベンチャー体験」
(PAファシリテーター)

- ・ 2005年6月12日 午後1時～午後4時 藤沢青少年会館
「楽しく安全な活動のために①～リスクマネジメント」
(NPO法人バディ冒険団 代表 遠藤大哉氏)
- ・ 2005年6月12日 午後1時～午後4時 藤沢青少年会館
「楽しく安全な活動のために②～事故やケガの対処と救急法」
(NPO法人バディ冒険団 代表 遠藤大哉氏)
- ・ 2005年7月9日 午後1時～午後4時 藤沢青少年会館
「イニシアティブゲーム～協力、信頼から生まれるもの」
(野外教育フリーランス 山ロー也氏)
- ・ 2005年7月24日 午前10時～午後3時 少年の森
「身近な自然に出かけてみよう～身近に気軽に自然体験」
(神奈川県野外活動協会 理事 池谷潤氏)
- ・ 2005年8月7日 午前10時～午後3時 少年の森
「ワクワク野遊びの玉手箱～子どもと自然の架け橋」
(ろぜっとわーくす 代表 中山康夫氏)
- ・ 2005年8月20日 午後1時～午後4時 藤沢青少年会館
「子どもの主体性を育む話し合いの方法」
(青木将幸ファシリテーター事務所 代表 青木将幸氏)
- ・ 2005年9月1日 午後7時～午後9時 藤沢青少年会館
「子どもの思いや力の引き出し方」
(神奈川県立相原高等学校 教員 倉田武明氏)
- ・ 2005年9月13日 午後7時～午後9時 藤沢青少年会館
「子どもの“遊び”とは？～遊びの中の驚き、発見、感動」
(藤沢市科学少年団 顧問 高山義則氏)
- ・ 2005年10月13日 午後7時～午後9時 藤沢青少年会館
「自然体験活動はなぜ必要？～自然体験活動の意義と効果」
(NPO法人 国際自然大学校スタッフ)
- ・ 2005年10月22日～23日 1泊2日 津久井町神ノ川ヒュッテとその周辺
「自然を楽しくしっかり伝えるために～体験から興味・関心＝学
びへ」
(NPO法人 国際自然大学校スタッフ)
- ・ 2005年11月13日 午前10時～午後3時 藤沢青少年会館
「イベントプランのいろは」
(Wit Communication Club 深谷淳氏・藤沢市青少年活動リーダーバンク)
- ・ 2005年12月11日 午前10時～午後4時 藤沢青少年会館
「イベントの企画・準備」
(協会職員・藤沢市青少年活動リーダーバンク)
- ・ 2006年2月4日 午前10時～午後4時 少年の森
「イベントの実施～ひらこう自然の宝箱」
(小学生1～6年生25人参加)
- ・ 2006年2月7日 午後7時～午後9時 藤沢青少年会館
「イベントふりかえり」
(協会職員・藤沢市青少年活動リーダーバンク)
- ・ 2006年2月24日 午後7時～午後9時 藤沢青少年会館
「ふりかえり～リーダーバンクの活動について」
(協会職員・藤沢市青少年活動リーダーバンク)
- 【特別コース】
- ・ 2005年9月25日 午後1時～午後4時 藤沢青少年会館
「青少年の心理と抱える問題」
(東京都立梅ヶ丘病院 精神科部長 田中哲氏)
- ・ 2005年11月20日 午後1時30分～午後3時30分 藤沢市労働会館
「“冒険”のすすめ～“冒険”は人の本能だ！！」
(冒険家・中央大学研究開発機構助教授 九里 徳泰)

- ・ 2006年2月16日 藤沢青少年会館
「輝かそう！子どもの瞳～魅力ある活動ってなんだろう？」
(NPO法人自然体験活動推進協議会 桜井義維英氏)

オ 藤沢こども議会（共催事業）

成 果 将来を担う子ども達が、藤沢市のさらなる発展に向けより住みやすく快適なまちづくりのため、自分たちの持っている考えや意見を発表することにより市政への関心を高め、子ども達の社会参加の推進が図られた

時 期 2005年11月12日 午後1時30分～午後3時30分

場 所 藤沢市議会議場

参加者 藤沢市内在住・在学の小学校4年生～6年生 25名
市側出席者 市長他22名

内 容 テーマに基づいたこども議員による提言、提案、質問に対して市側がコメント等

参加費 無 料

カ 藤沢ダンスMIX Ver. 7

成 果 日々の練習の成果を披露する場を提供することで、青少年が目標に向かって努力することにより達成感を得るとともに、青少年達の活力と創造性の高揚が図られた

時 期 2005年9月18日

場 所 藤沢市民会館大ホール

入場者数 815人

内 容 フリー部門のパフォーマンス及びコンテスト部門のダンスコンテスト

③ 青少年洋上研修事業等の地理的特性を生かした事業の推進

ア シースクール

成 果 藤沢市に住む中・高生が藤沢市の地理的特性である海・浜を自分のフィールドとして活用するために、サーフィン・シーカヤック・ヨットの体験を通じて、海に親しむ心を養った

時 期 サーフィン（ボディーボード） 2005年8月 4日
ヨット教室 2005年8月20日
シーカヤック 2005年8月26日

参加者 サーフィン（ボディーボード）36名
ヨット教室 10名
シーカヤック 10名

内 容 サーフィン（ボディーボード）、シーカヤックの体験及び海についての知識の習得、小型ヨット体験及びヨットについての講習

参加費 3,000円/名

イ 海とあそぼう ～カッターボート体験と海辺の生物の観察～

成 果 藤沢市の地理的特性である海を舞台とし、カッターボート訓練や海辺の生物観察を通し、自然を認識し、また、協調性や規律を学びとることができた

時 期 2005年7月18日 午前9時～午後3時30分

場 所 江ノ島ヨットハウス会議室及びヨットハーバー内

参加者 小学5～6年：59名

内 容 カッターボート・シーカヤック体験、海辺の生物の観察

参加費 500円/名

ウ 自然ふれあい教室

成 果 藤沢では体験することが少ない雪遊びを通して雪にふれ、雪に親しみながら自然についての理解を深め、また、雪の冷たさ、柔らかさ等の感触を楽しみ、雪遊びから自然との直接体験をすることができた

時 期 2006年1月7日～9日

場 所 藤沢市八ヶ岳野外体験教室

参加者 小学5～6年生：44名

内 容 雪遊びを通じた自然とのふれあい（雪上運動会、スノーハイク等）

参加費 12,000円/名

④ 青少年育成市民運動の促進

ア 青少年育成市民のつどい

成 果 青少年の指導に携わる者及び一般市民が、青少年の健全育成に関わる諸問題について考えるとともに、青少年育成に功績のあった者に感謝の意を表し、活動の推進を図った

時 期 2005年11月13日 午後1時～午後4時

場 所 労働会館ホール

参加者 256名

内 容 第1部：青少年育成活動推進功労者表彰式（青少年問題協議会主催）
非行防止ポスターコンクール表彰

第2部：講演会「自分探しへのエール～親として、人として生きて～」

講師 久田恵氏（ノンフィクション作家）

参加費 無 料

イ 親子映画会

時 期 毎月第3土曜日

場 所 藤沢青少年会館

参加者 289名

内 容 藤沢市内の映写ボランティアサークルによる映画の上映会を実施した

参加費 無料

ウ 親子人形劇のつどい

時 期 2005年12月25日 午後2時～午後4時

場 所 藤沢市民会館小ホール

参加者 390名

内 容 藤沢市内アマチュア人形劇サークルによる人形劇の上演会を開催した

参加費 300円/名

エ 地域青少年健全育成活動の助成、支援

成 果 地域住民の主体的活動として地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組む青少年育成協力会への助成及び支援を行った

時 期 年 間

対 象 藤沢市内14地区の青少年育成協力会

オ 青少年共催支援事業

成果 各種活動に対する助成金の支給をした

時期 年間

対象 藤沢市内在住、在学、在勤の青少年及び青少年育成者・団体

内容 社会参加活動 2件 (6万8千445円)

自然とのふれあい活動 1件 (5万円)

青少年育成活動 2件 (9万円)

⑤ 青少年団体の育成及び支援

ア 子どもフェスティバル

成果 青少年団体活動発表の場とするとともに、フェスティバル参加者に各団体への興味を持ってもらうことを目的に実施した。

時期 2005年5月5日 午前10時～午後3時

内容 各実行委員団体のコーナーや催し物・当日参加団体催し物、共同事業

参加費 無料

参加者 3,100人

イ 団体活動の育成、支援

成果 青少年の健全育成を目的とした各種青少年団体及び育成団体の活動の奨励並びに一層の振興を図り、青少年の社会参加を推進する団体活動への助成及び支援をした

時期 年間

対象 藤沢市内で活動する青少年団体及び青少年育成団体

ウ 新春のつどい

成果 青少年団体育成団体及び青少年協会関係者が一堂に会し、新年を祝うとともに、団体等の活動の情報交換を行い、お互いの親睦が深められた

時期 2006年1月24日 午後6時30分～午後8時

場所 藤沢市民会館第2展示ホール

参加者 133名

参加費 4,000円

エ 団体交流事業

成果 青少年団体、育成団体から選出された実行委員が、各団体の情報の共有化を目的に会議を重ね、メールマガジンの発行を毎月1回行った

内容 団体交流メールマガジンを毎月発行

⑥ 青少年育成資料の刊行並びに教材及び教具の提供

ア 協会だよりの発行

作成部数 6月3,000部 他各2,000部

発行日 年4回(6月、10月、1月、3月)

配布先 公共施設窓口、関係団体、小中学校等

内容 協会の事業紹介等PR紙を配布した

イ 研修・行事等器材の提供

時期 年間

対象 青少年活動を行うグループ・団体等

提供額 キャンプ用品、行商用テント、ムーブメントパラシュート、わたがし機、サンタクロース衣装等12品目

使用料 無料

貸出額 貸出数55件、貸出日数210日、団体数34団体

ウ 青少年協会展

時 期 2006年1月7日～1月17日
 展示場所 市民ギャラリー地下展示場
 展示内容 青少年協会及び事業の紹介を行った

⑦ 藤沢市青少年会館の管理運営の受託

ア 藤沢青少年会館

ア) 利用状況 利用者総数 45,841名(平成16年度 42,297名)

区 分		人 数	区 分		人 数	区 分		人 数
団 体・ 個 人 別	個 人	4,749	居 住 別	市内	39,452	階 層 別	大学生	5,851
				市外	6,389		勤労青年	1,653
	団 体	39,546	階 層 別	小学生	3,049		指導者	2,040
				中学生	1,001		その他 (一般含む)	30,985
				高校生	1,262			
	自主事業	1,546						

イ) 事業の実施状況

・あそびスタジオ

時 期 2005年4月～2006年3月の第2・第4土曜日
 計16回

場 所 藤沢青少年会館、大道小学校

参加者 延べ587名(ボランティア 延べ51名)

内 容 小学生を対象にしたゲーム、レクリエーション、工作等を実施した

・秋の祭典

時 期 2005年10月15日～16日

参加団体数 30団体

来館者 延べ1500人

内 容 藤沢青少年会館を利用する青少年や地域の指導者等の連携を図り、その主体的な活動を推進するために各サークル・団体の展示・紹介を行うとともに、模擬店(ポップコーン、綿菓子、バザー等)を開催した

・初心者講習会

時 期 年間(全18講座)

場 所 藤沢青少年会館

講習会名 エアロビクス、フォークダンス、茶道、マジック、手話、合気道、オカリナ、テコンドー(少年、一般)、サルサ、書道

内 容 藤沢青少年会館利用サークルの拡充を図るため基礎技術の習得を内容とする初心者講習会を実施(主は、サークル)した

参加者 延べ293人

・インターネット

時 期 年間(更新25回)

更新内容 青少年会館、協会のPR、事業参加者募集及び事業報告を行った

アクセス件数 7,593件(年間)

・IT教室

時期 2005年12月18日、2006年3月31日

内容 パソコンの基本的な操作方法

・2005年12月18日

カレンダーづくり

・2006年3月31日

メールを送ってみよう

参加者 延べ20人

イ 辻堂青少年会館

ア) 利用状況 利用者総数 27,697名(平成16年度 27,180名)

区分		人数	区分		人数	区分		人数
団体・個人別	個人	11,263	居住別	市内	18,844	階層別	大学生	256
				市外	8,853		勤労青年	192
	団体	12,929	階層別	小学生	5,648		指導者	327
				中学生	4,756		その他 (一般含む)	12,802
				高校生	3,716			
	自主事業	3,505						

イ) 事業の実施状況

・クラブ育成事業

時期 毎月1～2回

場所 辻堂青少年会館

クラブ数 小・中学生 936名

クラブ名 将棋、卓球、手芸、けん玉、パソコン

内容 技術の習得のみならず、学校・学年を越えた広域的健全育成を目的に実施した

・キディルーム

時期 毎月第2木曜日

参加者 幼児～小学生低学年369名

内容 読み聞かせ・ペープサート・パネルシアター等

・あそびこうぼう

時期 毎月第3土曜日開催

参加者 幼児～小学4年生207名

内容 工作・レクリエーション等

・居場所事業

時期 通年

内容 パソコン開放 900名

卓球開放 7,105名

談話室開放 3,258名

・夏のもよおし事業

ジュニア卓球教室

時 期 2005年7月21日～8月3日(全10回)

参加者 小学生200名

工作教室Ⅰ

時 期 2005年8月3日

参加者 小学生34名

内 容 マグネットでの福笑いづくりを実施した

工作教室Ⅱ

時 期 2005年8月10日

参加者 小学生32名

内 容 身近な素材を使ったモビールづくりを実施した

少年の森宿泊研修(1泊2日)

時 期 2005年8月4日～5日

場 所 少年の森

参加者 小学生32名

内 容 野外炊事、キャンプファイア等の自然野外体験学習を実施した

パソコン教室Ⅰ

時 期 2005年8月23日～24日(全2回)

参加者 小学生(低学年)20名

内 容 パソコンを使って夏の思い出を描く、ペイント機能を学んだ

パソコン教室Ⅱ

時 期 2005年8月25日～26日(全2回)

参加者 小学生(高学年)20名

内 容 パソコンを使って夏の思い出を描く、ペイント機能を学んだ

・季節事業

時 期 年12回(5月4日、5月28日、6月11日、9月17日、9月24日、10月1日、10月29日、11月27日、12月22日、1月14日、3月4日、3月11日)

場 所 辻堂青少年会館、野外

参加者 幼児、小・中学生、親子245名

内 容 母の日、親子ふれあいデー、料理教室、海・体験教室、工作教室、芋掘り、ウォークラリー、クリスマスの装飾づくり、クリスマスのつどい、鏡開き、パソコン教室の事業を実施した

・会館フェスティバル

時 期 2006年2月5日 午前9時～午後3時30分

場 所 辻堂青少年会館及び周辺

入場者数 1,024名

内 容 辻堂青少年会館利用者と地域住民との交流を図るため、パソコン・けん玉・手芸の各クラブの紹介の他、子どもたちが主体となった模擬店(おもち、豚汁、しゅうまい、やきそば等)を開催した

平成17年度 藤沢青少年会館利用状況

(人数単位:人)

項目 月別	利用者別					利用内容別						団 体						個人 計	開館 日数 日	
	公 用	団 公 共 的	事 青 少 年 会 館	団 社 会 教 育	そ の 他	文 化 活 動	ス ポ ー ツ ・ レ ク 活 動	学 習 研 修	会 議 打 合 せ	活 ボ ラ ン テ ィ ア 動	そ の 他	青少年		一般		その他				人
												件数	人	件数	人	件数	人			
4月	48	146	142	3,049	413	892	1,493	767	397	118	131	53	945	154	2,104	33	484	265	26	
5月	147	186	72	2,946	518	542	1,486	652	558	68	563	43	832	164	2,114	39	620	303	26	
6月	182	196	91	2,949	360	765	1,946	378	251	86	352	51	920	150	2,029	50	595	234	26	
7月	190	678	56	2,954	1,215	963	1,556	1,417	928	83	146	62	1,219	134	1,735	48	1,616	523	27	
8月	32	167	139	2,283	776	575	1,487	769	245	69	252	48	739	126	1,542	38	590	526	26	
9月	316	232	348	2,577	800	591	1,592	1,011	682	136	261	50	842	131	1,735	17	1,175	521	26	
10月	172	157	206	2,140	603	509	1,450	704	382	183	50	45	686	111	1,454	55	714	424	26	
11月	226	78	144	2,751	738	446	1,832	978	404	205	72	57	818	137	1,933	45	642	544	26	
12月	181	61	86	2,294	536	324	1,529	762	332	156	55	50	743	126	1,551	34	451	413	23	
1月	229	71	76	2,452	637	458	1,581	744	410	195	77	48	748	133	1,704	33	596	417	23	
2月	325	348	69	2,857	347	574	1,803	773	587	31	178	55	895	153	1,962	49	742	347	25	
3月	186	117	117	2,917	512	660	1,798	650	434	27	280	59	927	149	1,990	42	700	232	27	
計	2,234	2,437	1,546	32,169	7,455	7,299	19,553	9,605	5,610	1,357	2,417	621	10,314	1,668	21,853	483	8,925	4,749	307	

平成17年度 辻堂青少年会館利用状況

(人数単位:人)

項目 月別	利用者別					利用内容別					
	公 用	団公 共 体的	事青 少年 会館 業	育社 団会 体教	その他	文化 活動	ス ポ ー ツ レ ク 活 動	学 習 研 修	会 議 打 合 せ	活 ボ ラ ン テ ィ ア 動	その他
4月	0	23	121	951	3,891	84	2,832	2,010	60	0	0
5月	0	111	185	820	3,603	139	2,443	2,074	63	0	0
6月	0	15	116	1,042	2,453	86	1,612	1,887	41	0	0
7月	0	8	301	845	3,640	84	2,615	2,025	70	0	0
8月	0	5	304	96	4,183	240	2,123	2,212	13	0	0
9月	3,219	103	159	583	3,687	120	2,351	2,033	28	0	3,219
10月	1,539	15	197	610	3,660	173	2,391	1,888	30	0	1,539
11月	0	48	249	577	3,727	192	2,449	1,935	25	0	0
12月	0	58	240	566	3,789	183	2,394	2,034	42	0	0
1月	0	0	187	568	3,418	130	2,217	1,792	34	0	0
2月	0	15	1,248	600	3,416	1,204	2,181	1,835	59	0	0
3月	0	13	168	529	3,379	139	2,043	1,870	37	0	5,279
計	4,758	414	3,475	7,787	42,846	2,774	27,651	23,595	502	0	10,037

団 体						個人	開館 日数 日
青少年		一般		その他		計	
件数	人	件数	人	件数	人	人	
18	542	35	530	2	23	875	26
19	501	35	600	1	15	875	26
17	562	39	596	1	15	476	26
30	718	26	428	1	8	1,151	27
20	334	8	66	1	5	1,752	26
15	340	49	490	8	3,234	769	26
16	436	39	371	8	1,554	813	26
27	522	36	348	1	4	758	26
24	496	37	358	1	10	992	23
15	356	33	399	0	0	706	23
17	1,418	40	430	1	15	840	24
15	361	32	336	1	13	1,256	27
233	6,586	409	4,952	26	4,896	11,263	306

別表1

藤沢青少年会館

取り組み項目	項目内容	最終(平成19年) 到達目標 (平成15年度比)	基準年度数値 (平成15年度)	平成17年度	平成17年度
				目標率 (想定使用量等)	平成15年度対比率 実績数値
電気使用量の削減	電気使用量 単位:kwh	3%減	105,620	▲1%	▲12%
				104,564	92,908
水使用量の削減	水使用量 単位:m ³	3%減	1,368	▲1%	▲5%
				1,354	1,303
公用車燃料の使用量削減	ガソリン 単位:リットル	3%減	1,650	▲1%	1%
				1,634	1,660
その他燃料の使用量の削減	都市ガス 単位:m ³	3%減	9,708	▲1%	▲2%
				9,611	9,470
	灯油 単位:リットル				
廃棄物の減量化	廃棄物 単位:kg	3%減	981	▲1%	▲6%
				971	925

別表2

辻堂少年会館

取り組み項目	項目内容	最終(平成19年) 到達目標 (平成15年度比)	基準年度数値 (平成15年度)	平成17年度	平成17年度
				目標率 (想定使用量等)	平成15年度対比率 実績数値
電気使用量の削減	電気使用量 単位:kwh	3%減	10,907	▲1%	24%
				10,798	13,560
水使用量の削減	水使用量 単位:m ³	3%減	126	▲1%	8%
				125	136
その他燃料の使用量の削減	都市ガス 単位:m ³	3%減	54	▲1%	19%
				53	64
	灯油 単位:リットル	3%減	432	▲1%	▲67%
				428	144
廃棄物の減量化	廃棄物 単位:kg	3%減	245	▲1%	▲13%
				243	213

(別添 2)

使用料又は利用に係る料金の収入
実績報告 (平成 17 年度)

指定管理者 財団法人藤沢市青少年協会

平成17年度 青少年会館使用料実績報告書

藤沢青少年会館

月	件数	金額
4月分		
5月分	59	54,900
6月分	72	57,800
7月分	67	46,600
8月分	68	51,200
9月分	54	42,700
10月分	58	55,200
11月分	55	45,600
12月分	63	48,400
1月分	64	57,700
2月分	66	63,000
3月分	62	59,800
合計	688	582,900

辻堂青少年会館

月	件数	金額
4月分		
5月分	16	9,600
6月分	17	7,100
7月分	7	3,200
8月分	19	10,900
9月分	15	8,300
10月分	16	9,800
11月分	14	8,000
12月分	19	10,300
1月分	15	9,300
2月分	17	9,900
3月分	19	13,000
合計	174	99,400

(別添3)

管理に係る経費の収支状況報告
(平成17年度)

指定管理者 財団法人藤沢市青少年協会

「藤沢市青少年会館」
平成17年度収支決算書

収入の部

科 目	予算金額	決算金額	増減
基本財産運用収入	628,000	625,228	2,772
会費収入	2,500,000	2,452,000	48,000
市受託収入	62,943,000	62,943,000	0
負担金収入	1,766,000	1,719,900	46,100
寄付金収入	1,000	654,363	△ 653,363
雑収入	246,000	250,902	△ 4,902
収入合計	68,084,000	68,645,393	△ 561,393

支出の部

科 目	藤沢青少年会館関係費			辻堂青少年会館			青少年育成事業			総合計		
	予算金額	決算金額	増減	予算金額	決算金額	増減	予算金額	決算金額	増減	予算額合計	決算額合計	増減
給与手当	4,444,000	4,718,118	△ 274,118	6,203,000	6,202,800	200	15,575,000	15,847,720	△ 272,720	26,222,000	26,768,638	△ 546,638
臨時雇賃金	3,629,000	2,889,600	739,400			0			0	3,629,000	2,889,600	739,400
福利厚生費	1,079,000	710,275	368,725	783,000	825,666	△ 42,666	2,006,000	2,046,318	△ 40,318	3,868,000	3,582,259	285,741
旅費交通費			0	26,000	25,920	80	87,000	53,980	33,020	113,000	79,900	33,100
通信運搬費	404,000	319,924	84,076	91,000	86,035	4,965			0	495,000	405,959	89,041
消耗什器備品費	0	132,300	△ 132,300			0			0	0	132,300	△ 132,300
消耗品費	796,000	843,370	△ 47,370	422,000	313,618	108,382	472,000	348,771	123,229	1,690,000	1,505,759	184,241
修繕費	80,000	146,115	△ 66,115	108,000	259,350	△ 151,350			0	188,000	405,465	△ 217,465
印刷製本費	5,000	60,900	△ 55,900	15,000	0	15,000	685,000	565,894	119,106	705,000	626,794	78,206
燃料費	99,000	113,226	△ 14,226	24,000	6,000	18,000			0	123,000	119,226	3,774
光熱水料費	3,353,000	2,838,996	514,004	313,000	390,481	△ 77,481			0	3,666,000	3,229,477	436,523
食料費			0	13,000	9,450	3,550	541,000	560,635	△ 19,635	554,000	570,085	△ 16,085
賃借料	1,333,000	1,359,473	△ 26,473	135,000	165,108	△ 30,108	346,000	264,905	81,095	1,814,000	1,789,486	24,514
保険料	122,000	110,250	11,750	93,000	65,915	27,085	88,000	73,558	14,442	303,000	249,723	53,277
諸謝金	10,000	10,000	0	411,000	424,800	△ 13,800	926,000	740,000	186,000	1,347,000	1,174,800	172,200
手数料	154,000	142,650	11,350	12,000	12,000	0	40,000	39,900	100	206,000	194,550	11,450
租税公課	516,000	536,152	△ 20,152	399,000	412,425	△ 13,425	1,038,000	1,075,478	△ 37,478	1,953,000	2,024,055	△ 71,055
助成金支出			0			0	5,123,000	4,880,645	242,355	5,123,000	4,880,645	242,355
委託費	5,733,000	5,548,008	184,992	2,574,000	2,534,943	39,057	4,449,000	3,555,395	893,605	12,756,000	11,638,346	1,117,654
諸経費	1,135,000	2,108,733	△ 973,733	605,000	1,558,880	△ 953,880	1,589,000	2,710,713	△ 1,121,713	3,329,000	6,378,326	△ 3,049,326
	22,892,000	22,588,090	303,910	12,227,000	13,293,391	△ 1,066,391	32,965,000	32,763,912	201,088	68,084,000	68,645,393	△ 561,393